

学部人材養成目的	法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。
学科人材養成目的	法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルを養成する。
学位授与方針	1. 社会一般で必要とされる基礎的な法律の体系を理解し、法律を使って考える能力を修得している。 2. グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲を修得している。 3. 大学で学んだ知識を活用し、他人や地域社会に貢献する意識を修得している。

学位授与方針(再表現)	異文化の言語体系に臆することなく必要な知識を得るための調査や、多様な人とのコミュニケーションを図り、行動するための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	身に着けた専門性を活用し、グループで協力しながら問題解決に取り組むことで、「論理的思考力」と「課題解決力」を身につける。	基礎的な法律の知識体系を使って、様々な法専門分野とかかわる現代社会の問題を分析し考察することができる。	学んだ法律の体系的知識を活用し、資格取得に必要なとされる専門知識を修得する。	学んだ法律の体系的知識を活用し、実習を通して課題解決能力とリスクマネジメントの知識を身につける。	学んだ法律の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。
-------------	---	--	---	--	---	--	--	-----------------------------------

大区分	共通				専門			
科目区分	外国語	教養	キャリア・実技・実習	演習・ゼミ科目	専門科目	資格コース科目	リスクコース科目	特殊講義科目
4年				キャリア・チュートリアルⅣ 専門演習B				
3年			キャリアプラン実践	キャリア・チュートリアルⅢ 専門演習A	契約法総論 契約法各論 行政法総論 刑法各論 行政救済法 地方自治法 企業法Ⅰ 企業法Ⅱ 税法総論 税法各論 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ 国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ 国際法 外国法 環境法 法哲学 法社会学	法職資格講座6(知的財産権) 法職資格講座7(登記法書式)	リスクマネジメント各論Ⅰ リスクマネジメント各論Ⅱ	法政特殊講義3(公法上級) 法政特殊講義4(私法上級) 法政特殊講義5(地域連携) 法政特殊講義6 法政特殊講義7 法政特殊講義8
2年	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ インドネシア語Ⅲ インドネシア語Ⅳ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	倫理思想 教育学 地理学 人権論 英米文化Ⅰ 英米文化Ⅱ 比較文化論 現代文化論 芸術論 日本国憲法 人権論 地域学 科学史	キャリアプラン インターンシップ フィールドワーク・実践A フィールドワーク・実践B フィールドワーク・実践C 海外語学実習A 海外語学実習B	キャリア・チュートリアルⅡ 法律学基礎セミナー	債権総論 物権法 担保物権法 民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 刑法総論 刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ 民法総則Ⅱ 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ	法職資格講座1 法職資格講座2 法職資格講座3(登記法) 法職資格講座4(法律実務論) 法職資格講座5(不動産関連法)	リスクマネジメント実習 リスクマネジメント実践論 リスクマネジメント総論 社会実習2	法政特殊講義1(公法補論) 法政特殊講義2(私法補論)
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 外国史Ⅰ 外国史Ⅱ 学園史 日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 健康科学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済	環境科学 惑星科学 自然科学概論 数学 教養特殊講義1 教養特殊講義2 教養特殊講義3 教養特殊講義4 教養特殊講義5 教養特殊講義6 教養特殊講義7 教養特殊講義8	文章表現 知の技法 情報処理A 情報処理B 教養基礎A 教養基礎B キャリアデザイン スポーツ実技	キャリア・チュートリアルⅠ	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 法律学入門Ⅰ 法律学入門Ⅱ 民法総則Ⅰ 親族法 相続法		リスクマネジメント入門 社会実習1

キャリア

教育課程編成方針(再表現)	1. 法律を学ぶ面白さを知り、法律全般に対する興味関心を持たせうえて、基本的な法体系を理解し、法律を使って考えられるための法的思考力を養成する。 2. 教員や学生同士の人間関係を中心とした全人格教育を行うとともに、課題に対して主体的・能動的に取り組む姿勢を持たせ、知識の創造的性質、実践的性質を理解させる。そのために、プレゼンテーションや共同学習を重視する。 3. 学生自らが、資格取得やキャリアプランに関する目標を設定し、達成しようという意欲を養成する。そのために、カリキュラムに留まらず、さまざまな支援策を組み合わせる。
---------------	--

入学者受け入れ方針	1. 行政や地方自治の分野に興味を持ち、公務員をめざし地域社会の発展や安全・安心社会の実現に貢献したいという意欲を持つ学生を受け入れる。 2. 法律学を学び、法学検定や宅建・行政書士等の法律系資格取得を目指す学生を受け入れる。 3. 現代の地域社会及び国際社会を深く知り、地域連携活動、課外活動、学内外でのさまざまな体験を通して、卒業後には地域で広く活躍できる人材へと成長したい学生を受け入れる。 4. 上記の方針を達成するために、高等学校において英語・国語・社会の三科目において、基礎的な理解力を持つとともに、大学において知識習得の意欲を持ち、自らが設定した目標を実現するために、4年案努力しようとする学生を受け入れる。
-----------	--

2016年度(平成27年度) 経済学部 経済学科 カリキュラムマップ

学部人材養成目的	経済学部は、経済学及び経営学の専門的・体系的知識に基づく基礎的な思考力を修得させ、もって時代の変化に適切に対応し、バランスある社会の発展に貢献する、理論と実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。												
学科人材養成目的	経済学部経済学科は、時代、地域社会、国際社会から求められる経済学の基礎的知識を修得させ、経済学的視点から課題を発見し解決することができ、かつ対話を通じて互いの認識を共有できる人材を養成する。												
学位授与方針	1. 経済学、経営学、会計学の知識を生かして社会を理解する能力を修得している。 2. 社会における自らの高い使命感を持ち、社会人として成長し続ける能力を修得している。 3. 地域社会への貢献を目指し、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を修得している。												
学位授与方針	異文化の言語体系に臆することなく必要な知識を得るための調査や、多様な人とのコミュニケーションを図り、行動するための基本的な語学力を身につける	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する	専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。	経済学の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	国際経済の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	経済の制度や歴史の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	経営学の基礎知識を理解する。	地域社会・地域経済に関する専門的な学びと、様々な形で地域との対話・協働の実践を通じ、地域の現状に挑戦し、これからの未来を作り上げていく、知識と行動力を備えた地域アクターとなる。	社会人としての基礎的マナーを養い、経済・経営学の専門的知識を修得し、地域企業で活躍できる職業人を養成する。	スポーツ関連ビジネスに求められる知識やスキルを磨き、スポーツ体験を将来の職業に活用できる人材を養成する。	学んだ経済・経営の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。	経済学・経営学の専門的学びを活用し、実践するために、法律、国際関係、に関する基礎的な知識と技能を修得する
大区分	共通						専門						
科目区分	外国語	教養	基礎・キャリア・実技・実習	演習	経済理論	国際経済	経済制度・歴史	経営	地域づくり	企業人養成	ビジネスアスリート	特殊	関連
4年				卒業研究									
3年			キャリアプラン実践	経済演習Ⅱ 総合演習Ⅱ	金融論 財政学 経済統計 労働経済学 地域経済論	国際金融論 国際経済学 環境経済論	経済政策論 日本経済史 西洋経済史 地方財政論 社会保障論	経営組織論 マーケティング論入門 企業論入門	地域コミュニティ論 地域社会実習 観光ビジネス論	ビジネスデータ分析 ビジネスマナー 会計学Ⅱ 人的資源管理論入門 財務管理論 流通総論 銀行論	ビジネスフィールドワーク コミュニケーションスキル ビジネスマナー	経済学特殊講義6 フロンティア特講 企業法Ⅰ 税法総論	企業法Ⅰ 税法総論 国際法 国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ
2年	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ インドネシア語Ⅲ インドネシア語Ⅳ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	倫理思想 教育学 地理学 人権論 英米文化Ⅰ 英米文化Ⅱ 比較文化論 現代文化論 芸術論 日本国憲法 人権論 地域学 科学史	キャリアプラン インターンシップ フィールドワーク・実践A フィールドワーク・実践B フィールドワーク・実践C 海外語学実習A 海外語学実習B	経済演習Ⅰ 総合演習Ⅰ	金融論入門 財政学入門 労働経済学入門 地域経済論入門 日本経済論 ミクロ経済学 マクロ経済学 統計学入門 経済数学入門	国際金融論入門 国際経済学入門 環境経済論入門 貿易論	経済政策論入門 経済学史入門 社会保障論入門	会計学Ⅰ	地域政策論 地域づくり実習 都市経営論 地域環境論	社会生活のしくみ ビジネスのための法律入門	イベントプランニング 社会生活のしくみ ビジネスのための法律入門	経済学特殊講義4 経済学特殊講義5	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ 国際社会学
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 外国史Ⅰ 外国史Ⅱ 学園史 日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 健康科学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済	環境科学 惑星科学 自然科学概論 数学 教養特殊講義1 教養特殊講義2 教養特殊講義3 教養特殊講義4 教養特殊講義5 教養特殊講義6 教養特殊講義7 教養特殊講義8	文章表現 知の技法 情報処理A 情報処理B 教養基礎A 教養基礎B キャリアデザイン スポーツ実技	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 日本経済のしくみ		経済学入門	地域づくり論 北九州学			経済学特殊講義1 経済学特殊講義2 経済学特殊講義3	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法総則Ⅰ
教育課程編成の方針	1. 現実社会の事象を独自に分析できるように科目を基礎、発展、応用と順序だて、経済学、経営学、会計学を体系的に履修させる。 2. 社会において役立つ資格取得やキャリア形成について目標を自ら設定し、スポーツ指導者の資格取得を目指すなど目標の実現に向けて努力する場を提供する。あわせて簿記検定や経営学検定をはじめとする資格試験の合格に向けて支援する。 3. コミュニケーションとプレゼンテーションの能力を高め、人間関係を構築するトレーニングの場として演習を重視し、また卒業研究を学修の総括として位置づける。												
入学者受け入れ方針	1. 現代の社会に対して強い関心を持ち、経済知識を深めながらコミュニケーション能力を高め、自分の考えを分かりやすく表現しようとする意欲の高い学生を受け入れる。 2. 地域の社会や企業のなかで活躍できる人材となれる可能性を持った学生を受け入れる。 3. 簿記、経営管理やマーケティングに関心を示し、実践的なマネジメント能力、情報、会計等のビジネススキルの習得に意欲を持つ学生を受け入れる。 4. 上記の方針を達成するために、一般入試では、高等学校において数学Ⅰ、政治経済、世界史、日本史、地理のいずれかを履修し、経済学部で学ぶ意欲のある学生を受け入れる。また、推薦入試では、ボランティア、資格取得やスポーツ活動などに熱意ある学生を受け入れる。さらに、AO入試では、地域に貢献できる社会人として成長する可能性のある学生を受け入れる。センター試験入試では、基礎的な学力を有し経済に関心のある学生を受け入れる。												

学部人材養成目的	経済学部は、経済学及び経営学の専門的・体系的知識に基づく基礎的な思考力を修得させ、もって時代の変化に適切に対応し、バランスある社会の発展に貢献する、理論と実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。
学科人材養成目的	・経済学部経営学科は、経営学の体系的知識及びそれに関する能力を修得させ、もって企業・地域社会において活躍できる経営に関する実践的スキルを持った人材を養成する。
学位授与方針	1. 経済学、経営学、会計学の知識を生かして社会を理解する能力を修得している。 2. 社会における自らの高い使命感を持ち、社会人として成長し続ける能力を修得している。 3. 地域社会への貢献を目指し、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を修得している。

身に付く能力	異文化の言語体系に臆することなく必要な知識を得るための調査や、多様な人とのコミュニケーションを図り、行動するための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかわっていか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。	経営学の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	流通の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	会計学の知識を生かして社会を理解する能力を修得する。	経済学の基礎知識を理解する。	簿記・会計学の知識を使い、企業の経営に携われる人材を育成する。	経営学の知識を活かし、他者と協働して課題解決できるコミュニケーション能力を身につける。	社会人としての基礎的マナーを養い、経済・経営学の専門的知識を修得し、地域企業で活躍できる職業人を養成する。	スポーツ関連ビジネスに求められる知識やスキルを磨き、スポーツ体験を将来の職業に活用できる人材を養成する。	学んだ経済・経営の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。	経済学・経営学の専門的学びを活用し、実践するために、法律、国際関係に関する基礎的な知識と技能を修得する
--------	---	--	---	--	----------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------	---------------------------------	---	---	--	--------------------------------------	---

大区分	共通					専門								
-----	----	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--	--	--	--

科目区分	外国語	教養	キャリア・実技・実習	演習	マネジメント	流通マーケティング	簿記会計	経済	ビジネス アカウンティング	ビジネス リーダー	企業人養成	ビジネス アスリート	特殊関連	関連
4年				卒業研究										
3年			キャリアプラン実践	経営演習Ⅱ 総合演習Ⅱ	企業論 経営管理論 人的資源管理論 中小企業論 財務管理論 経営学 北九州学	ロジスティクス論 銀行論 マーケティング論 経営戦略論 販売促進論 金融機関論 国際マーケティング論	税務会計論	財政学入門 地域経済論入門	管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 財務会計特論Ⅰ 財務会計特論Ⅱ 経営分析論	ビジネスケーススタディ ビジネスプラクティス 地域環境論	ビジネスデータ分析 ビジネスマナー 日本経済論 統計学入門 金融論入門 経済政策論入門 経済史入門	ビジネスフィールドワーク コミュニケーションスキル ビジネスマナー	経営学 特殊講義6 フロンティア特講	企業法Ⅰ 税法総論 国際法 国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ
2年	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ インドネシア語Ⅲ インドネシア語Ⅳ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	倫理思想 教育学 地理学 人権論 英米文化Ⅰ 英米文化Ⅱ 比較文化論 現代文化論 芸術論 日本国憲法 人権論 地域学 科学史	キャリアプラン インターンシップ フィールドワーク・実践A フィールドワーク・実践B フィールドワーク・実践C 海外語学実習A 海外語学実習B	経営演習Ⅰ 総合演習Ⅰ	経営組織論 人的資源管理論入門 経営史 財務管理論入門 コンピュータのしくみ 経営プログラミング	マーケティング論入門 経営戦略論入門	会計学Ⅲ 会計学Ⅳ 原価計算Ⅰ 原価計算Ⅱ	ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門	マーケティング論入門	人材開発論 ビジネスリーダーシップ論	社会生活のしくみ ビジネスのための法律入門	イベントプランニング 社会生活のしくみ ビジネスのための法律入門	経営学 特殊講義4 経営学 特殊講義5 会計学 特殊講義3 会計学 特殊講義4	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ 国際社会学
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 外国史Ⅰ 外国史Ⅱ 学園史 日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 健康科学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済	環境科学 惑星科学 自然科学概論 数学 教養特殊講義1 教養特殊講義2 教養特殊講義3 教養特殊講義4 教養特殊講義5 教養特殊講義6 教養特殊講義7 教養特殊講義8	文章表現 知の技法 情報処理A 情報処理B 教養基礎A 教養基礎B キャリアデザイン スポーツ実技	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ	経営学入門 会計学Ⅰ 企業論入門	流通総論	会計学Ⅱ	日本経済のしくみ	ビジネスアカウンティング入門	ビジネスリーダーシップ論入門		経営学 特殊講義1 経営学 特殊講義2 経営学 特殊講義3 会計学 特殊講義1 会計学 特殊講義2	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法総則Ⅰ

教育課程編成の方針	1. 現実社会の事象を独自に分析できるように科目を基礎、発展、応用と順序だて、経済学、経営学、会計学を体系的に履修させる。 2. 社会において役立つ資格取得やキャリア形成について目標を自ら設定し、スポーツ指導者の資格取得を目指すなど目標の実現に向けて努力する場を提供する。あわせて簿記検定や経営学検定をはじめとする資格試験の合格に向けて支援する。 3. コミュニケーションとプレゼンテーションの能力を高め、人間関係を構築するトレーニングの場として演習を重視し、また卒業研究を学修の総括として位置づける。
-----------	---

入学者受け入れ方針	1. 現代の社会に対して強い関心を持ち、経済知識を深めながらコミュニケーション能力を高め、自分の考えを分かりやすく表現しようとする意欲の高い学生を受け入れる。 2. 地域の社会や企業のなかで活躍できる人材となれる可能性を持った学生を受け入れる。 3. 簿記、経営管理やマーケティングに関心を示し、実践的なマネジメント能力、情報、会計等のビジネススキルの習得に意欲を持つ学生を受け入れる。 4. 上記の方針を達成するために、一般入試では、高等学校において数学Ⅰ、政治経済、世界史、日本史、地理のいずれかを履修し、経済学部で学ぶ意欲のある学生を受け入れる。また、推薦入試では、ボランティア、資格取得やスポーツ活動などに熱意ある学生を受け入れる。さらに、AO入試では、地域に貢献できる社会人として成長する可能性のある学生を受け入れる。センター試験入試では、基礎的な学力を有し経済に関心のある学生を受け入れる。
-----------	--

学部人材養成目的	国際関係学部は、国際関係学の専門的・体系的知識に基づく基礎的な思考力を修得させるとともに、複雑化、多様化する国際社会のグローバル化に対応するグローバル・リテラシー(国際対話能力)を備えた人材を養成することを目的とする。														
学科人材養成目的	国際関係学部国際関係学科は、国際コミュニケーションの手段としての言語能力と総合的な国際教養を基礎として、豊かで個性的な人間性、自己開発能力、国際的視野を持ちフィールドワークを通して実践する能力、文化の違いを認識しつつ協調を図る能力、問題発見と解決能力を併せ持つ人材を養成する。														
学位授与方針	1. 国際社会に生きる自己や他者を理解するために必要な国際教養と、異文化に生きる人々を尊重し彼らと協調して国際社会に貢献するための能力を修得している。 2. 国際コミュニケーションの手段として必要な、英語・韓国語・中国語を中心とした国際対話能力を修得している。 3. 自ら課題を探求し、他者と協力しながら自律的、主体的に課題を解決するためのコミュニケーション能力と職業的自律を図るための能力を修得している。														
学位授与方針(再表現)	異文化の言語体系に臆することなく必要な知識を得るための調査や、多様な人とのコミュニケーションを図り、行動するための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する	国際関係に対する専門的な知識や理解力を身につけ、様々な課題に関する解決法を見出す力を身につける。	国際関係を理解するための基礎知識を修得し、異文化、グローバル化が進む世界の問題を理解し、将来の目標に向かって目標設定の出来る。	国際関係・異文化理解に関する専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、解決していくための知識を修得する。	「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく高め、「使える」英語力を修得する。言語、異文化理解の重要性を理解し、言語力、コミュニケーション力を修得している。	韓国・朝鮮半島への知識を高め、実践的な学びを通して韓国語を修得し、交換留学や海外実習などで国際感覚を身につける。	観光ビジネスを理解し、観光の新しい価値を創り出す能力を有するとともに観光学の基礎的知識を用いて観光を数字で捉えることができ、ホスピタリティの実践を身につけることができる。	NGOやNPOを題材に国際協力のしくみを学び、多様な人々と協働できるコミュニケーション能力を修得している。	学んだ国際関係学の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。	学んだ国際関係の体系的知識と資格取得に必要とされる専門知識を活用できる能力を修得する。	社会をより深く理解することで湧いてきた課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。	国際関係学の専門的学びを活用し、実践するために、法律、経済、経営に関する基礎的な知識と技能を修得する	
大区分	共 通					専 門									
科目区分	外国語	教養	基礎・キャリア・実技・実習	プロジェクト研究科目群	必修	選択A・選択B・基幹	国際関係・言語	英語	ハングル	観光	国際協力	特殊講義科目群	資格科目群	実習・実務科目群	関連
4年				卒業プロジェクト研究											
3年			キャリアプラン実践	プロジェクト研究基礎 プロジェクト研究基礎			国際法 グローバル化時代と国際関係 異文化コミュニケーション論	Advanced Reading Advanced Writing Speech & Discussion	PCビジネス韓国語演習 韓国語講読		国際協力実践論 NGO実践論				
2年	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ インドネシア語Ⅲ インドネシア語Ⅳ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	倫理思想 教育学 地理学 人権論 英米文化Ⅰ 英米文化Ⅱ 比較文化論 現代文化論 芸術論 日本国憲法 人権論 地域学 科学史	キャリアプラン フィールドワーク・実践A フィールドワーク・実践B フィールドワーク・実践C	プロジェクト研究入門 プロジェクト研究入門		基幹 国際政治学 国際経済学 国際社会学 国際協力論	国際関係史 比較宗教論 日本文化論 貿易論 国際金融論 経営学 国際マーケティング論 多国籍企業論 ビジネス中国語	PC TOEIC Training II PC TOEIC Training III Communicative English I Communicative English II Reading Writing 英語の発音とリズム English for Hospitality & Tourism 英語学概論 英文法論	日韓交流史 韓国語会話Ⅱ 観光韓国語 PC韓国語演習	観光調査法 観光マーケティング論 観光ビジネス論 ホテルマネジメント論	開発経済論 NPO・ボランティア論 NGO論 ファシリテーション演習	国際関係特殊講義Ⅴ 国際関係特殊講義Ⅵ	資格検定講座Ⅲ 資格検定講座Ⅳ 資格検定講座Ⅴ 資格検定講座Ⅵ	海外語学実習A 海外語学実習B 海外社会実習A 海外社会実習B 国内社会実習 インターンシップ 秘書実務 会計学Ⅰ ビジネス実務	政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ ミクロ経済学
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	哲学Ⅰ 哲学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 外国史Ⅰ 外国史Ⅱ 学園史 日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ 健康科学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済	文章表現 知の技法 情報処理A 情報処理B 教養基礎A 教養基礎B キャリアデザイン スポーツ実技	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 国際関係学入門Ⅰ 国際関係学入門Ⅱ PC English 夢カフェ	選択A コース入門(英語) コース入門(ハングル) コース入門(観光ビジネス) コース入門(国際協力) 選択B ホスピタリティ・マネジメント 異文化コミュニケーション入門 対人コミュニケーション論 ビジネス・コミュニケーション論	アジア概論 中国語会話	PC TOEIC Training I	韓国語会話Ⅰ		国際関係特殊講義Ⅰ 国際関係特殊講義Ⅱ 国際関係特殊講義Ⅲ 国際関係特殊講義Ⅳ	資格検定講座Ⅰ 資格検定講座Ⅱ		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法総則Ⅰ ミクロ経済学入	
教育課程編成の方針	1. 国際関係学で扱われる政治・経済・社会・文化の諸分野に関する専門科目を体系的に学習することで国際教養を身につけ、国際社会に貢献する能力を養成する。 2. 英語・韓国語・中国語を中心とした外国語の運用能力を高め、地域の事情を学ぶとともに、海外での体験などを通して異文化理解を深めながら、国際社会で活躍するための対話能力を養成する。 3. 演習、実習などを通じて学生の自律的、主体的な取り組みを促し、コミュニケーション能力、課題の発見・探求能力および社会人としての基礎力を養成し、将来の職業的自立のために必要な能力を養成する。														
入学者受け入れ方針	1. 国際社会の一員として社会に貢献したいという意欲をもつ学生を受け入れる。 2. 国際教養、日本語・外国語でのコミュニケーション能力および社会人基礎力を身につけ、グローバルな視野をもって社会で活躍したいと考えている学生を受け入れる。 3. 日本および諸外国の文化、社会、政治、経済などについての知識、英語を中心とした外国語のコミュニケーション能力、および自ら考え他者と協力しながら課題を探求する能力を身につけたい学生を受け入れる。 4. 高等学校などで国語、英語、地理・歴史、政治・経済などに関する基礎を学習した学生を受け入れる。														